

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	電気設計	
科目基礎情報							
科目番号	0088			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電気工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	「大学課程 電機設計学」 竹内寿太郎 原著 (オーム社)						
担当教員	碓賀 厚						
到達目標							
科目の到達目標は、以下の3項目である。 ①電気機器の容量と装荷分配の関係式を用いて、完全相似性の装荷分配を説明できる ②変圧器の設計について、銅機械と鉄機械を理解し、完全相似性の最適な装荷分配の設計計算を説明できる ③回転機の設計について、D2L法を理解し、完全相似性の最適な装荷分配の設計計算を説明できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	電気機器の容量を表す式を導出でき、完全相似性の装荷分配を説明できる		電気機器の容量を表す式を導出でき、比容量と電気装荷並びに磁気装荷との関係を説明できる		電気機器の容量を表す式を導出でき、電気装荷と磁気装荷を説明できる		電気機器の容量を表す式を導出できず、完全相似性の装荷分配を説明できない
評価項目2	銅機械と鉄機械を理解でき、変圧器の設計について、完全相似性の最適な装荷分配を説明できる		銅機械と鉄機械を理解でき、変圧器の設計について、銅機械と鉄機械の装荷分配を説明できる		銅機械と鉄機械を理解でき、変圧器の設計について、銅機械あるいは鉄機械の装荷分配を説明できる		銅機械と鉄機械を理解できず、変圧器の設計について、完全相似性の最適な装荷分配を説明できない
評価項目3	D2L法を理解でき、三相誘導電動機の設計例に基づいて、完全相似性の設計を説明できる		D2L法を理解でき、三相誘導電動機の設計例に基づいて、銅機械と鉄機械の設計を説明できる		D2L法を理解でき、三相誘導電動機の設計例に基づいて、銅機械あるいは鉄機械の設計を説明できる		D2L法を理解できず、三相誘導電動機の設計例に基づいて、完全相似性の設計を説明できない
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第2学期 電気機器の容量と寸法の間​​						

思考・推論・創造への適用力	30	0	0	0	0	10	40
汎用的技能	0	0	0	0	0	0	0
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	0	0